

平成 年10月6日(水)  
神戸新聞 朝・夕  
24頁 淡路版

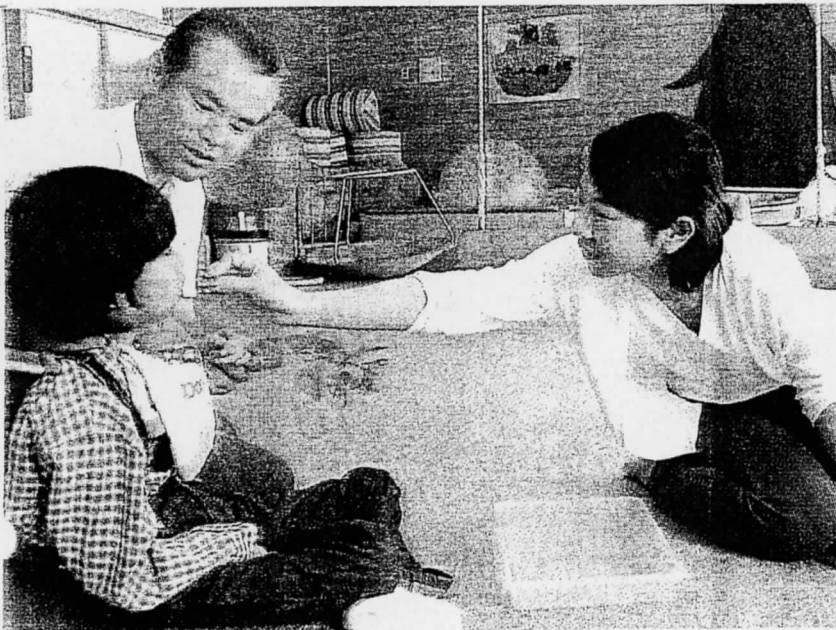
# 植物の力で心身癒やす

## 養護学校で園芸療法実践

### 景観園芸学校 修了の丸山さん

植物と触れ合うことで、お年寄りや障害者の心身のリハビリを図る「園芸療法」。県立淡路景観園芸学校（北淡町野島常盤）の修了生が、昨年から五色町下堺の県立淡路養護学校で実践している。子どもたちもリラックスした様子で、保護者や教諭にも好評だ。

（高田康夫）



### 昨年9月から 子どもらの反応上々

景観園芸学校で専門課程を学び、園芸療法士の資格をもつ修了生。昨年九月から養護学校の臨時講師として招かれた。小・中学部の子どもたちを対象に実践、今年からは高等部でも始めた。

九月からの講師は、八月に修了した丸山恵利加さん（二八）。子どもたちを対象にした園芸療法の実習はなかったため、「経験を積んでいきたい」と意欲をみせる。

最初の授業では、レモンバームやローズマリーなどのハーブを用意し、植物への反応がどれぐらいあるかをチェック。中には、香りの強いキンモクセイの花にびっくりして枝を投げ出す生徒もいたという。このほか、ススキが顔に当たる感触を体験してもらった。

今後は、校庭で苗の植え付けもする予定。養護学校の白瀬孔彬教頭は「まだ一年で、目に見える効果はないが、毎回楽しみにしている生徒も多い」と話している。

生徒にハーブの香りを体験してもらう丸山さん——県立淡路養護学校